

甚目寺南児童館

【活動内容】

- ・ 2歳児親子対象登録制の「コアラ教室」では、月を追うごとにお店屋さんごっこや劇遊びなど、友達と関わる行事に移行し入園準備に備えさせた。
- ・ 未就園児対象の「ちびっこあつまれ」では、月齢が低い子も簡単にできるような音楽・工作・運動あそびを行い、自信が持てるよう声掛けをした。また、家庭に戻ってもできるように、身近なものを使った行事を提供した。
- ・ 来館する乳幼児の保護者には、子どもが厚生員とふれ合う間のほんの少しの休憩時間や、保護者同士の育児相談や古着の交換などの自由な交流の場の提供をした。来館時に度々ミルクを吐く乳児について、保健センターなど関係機関と連絡を取り、保護者の悩みに寄り添った。
- ・ 一般来館では部屋が狭い中、また乳幼児もいる中で、小学生にどんな遊びをすれば良いかを問いかけ、「ボール投げ」より「ペットボトルボーリング」の方が安全であるなど利用者全員が楽しく過ごせる場を作ることを考えさせた。

【反省・課題】

- ・ 「ちびっこあつまれ」・「コアラ教室」ではともに月齢が低い子が多かったからか、集中できる時間が短く、話が聞けず遊び出す子もいた。今後は、少しでも乳幼児が集中して参加できるように、行事の流れに工夫を凝らし、また遊び出す子への声掛けを利用して子どもたちの気持ちを惹きつけるなど、心を配って行事を進めていきたい。
- ・ 児童館行事では、掲示や行事内容を工夫し、児童が参加したいと思える環境づくりをしていきたい。

【次年度へ向けての方針】

- ・ 利用者と良好な関係を築き、それぞれの考え方、育児方針、家庭環境に寄り添い、皆が施設を楽しく利用できるように努めて、来館者数の増加に繋げられるようにしていく。
- ・ 小学生事業では、新たな行事に表現活動プログラムとして「小学生による読み聞かせ」を実施し、児童の自主性・表現力を高めていく。